

# 函館市地域包括支援センター ときとう

平成29年度活動評価

平成30年度活動計画

中央部第2圏域



# — 目 次 —

1. 圏域の特徴と課題	・・・	p.1
2. 活動評価と活動計画		
① 包括的支援事業		
ア 地域包括支援センターの運営		
(ア) 総合相談支援業務	・・・	p.2～5
(イ) 権利擁護業務	・・・	p.6～9
(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	・・・	p.10～13
(エ) 地域ケア会議推進事業	・・・	p.14～15
イ 生活支援体制整備事業		
(ア) 第2層生活支援コーディネーター業務	・・・	p.16～17
② 新しい介護予防・日常生活支援総合事業		
ア 一般介護予防事業		
(ア) 地域介護予防活動支援事業	・・・	p.18～23
(高齢者の生きがいと健康づくり推進事業)		
③ 任意事業		
ア 住宅改修支援事業	・・・	p.24～25

# 圏域の特徴と課題

中央部2

## 1. 人口の推移と年齢構成

	(人)					H30.3末	
	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3	H30.3	割合	全市
年少人口	2,820	2,727	2,678	2,608	2,531	9.3%	9.9%
生産年齢人口	17,254	16,706	16,379	15,923	15,569	57.3%	55.8%
高齢人口	8,516	8,767	8,922	9,033	9,093	33.4%	34.3%
(再掲)65～74歳	4,081	4,302	4,318	4,373	4,409	16.2%	17.1%
(再掲)75歳以上	4,435	4,465	4,604	4,660	4,684	17.2%	17.2%

## 2. 世帯構成

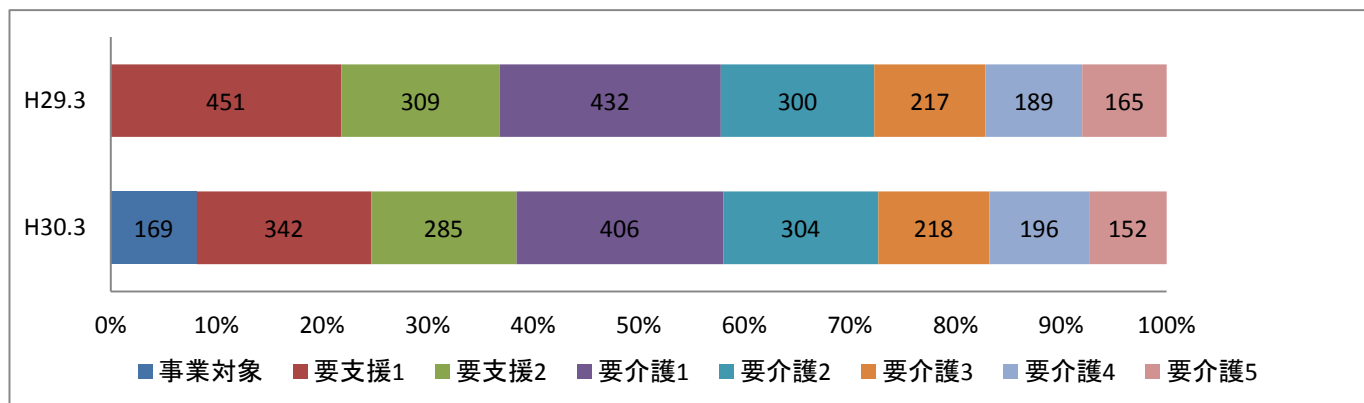
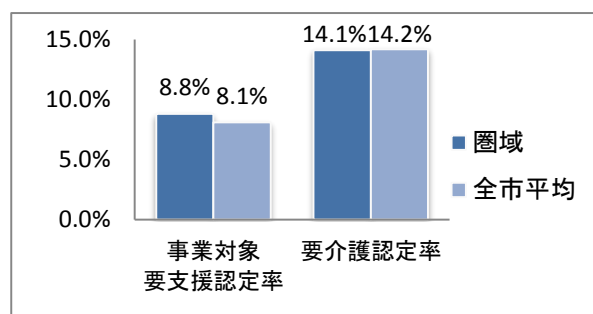
	H30.3末		
	世帯数	割合	全市
高齢者単身世帯	3,855	24.3%	24.0%
高齢者複数世帯	1,774	11.2%	12.8%
その他	10,226	64.5%	63.2%

## 4. 介護保険サービス事業所数

H30.3末	
居宅介護支援・小規模多機能型等	12
地域密着型サービス	17

## 3. 要介護認定の状況

	H30.3末		
	H29.3	H30.3	全市
事業対象者・要支援認定者(人)	760	796	7,253
事業対象該当率・要支援認定率(%)	8.4%	8.8%	8.1%
予防給付等実績(人)		511	4,607
給付率(%)		64.2%	63.5%



## 5. 圏域の課題

圏域が函館市内の中心部であるため、商業施設や高等学校、専門学校等の教育機関が多く、比較的若い世代の交流が多いものの、一方で単身世帯が全市平均よりも高く、身寄りのない(家族との関係性が希薄で疎遠状態含む)高齢者も多く存在する。

他者の介入を拒み地域から孤立している高齢者が重篤な状態で発見されたり、解決しなければならない課題がより複雑化した世帯も発見される。

圏域内ほとんどの町内会の共通課題として、地域福祉の担い手の高齢化や人材不足なども圏域の課題としてあげられる。

① 包括的支援事業

ア 地域包括支援センターの運営

(7) 総合相談支援業務

【根拠法令】介護保険法115条の4第2項第1号

【目的】地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、高齢者等の心身の状況や生活実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関または制度の利用につなげる等の支援を行う。

事業内容	平成29年度 活動評価																																																	
	実績	評価																																																
地域包括支援ネットワーク構築	<p>①ネットワーク構築機関数 59 機関</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機関名</th> <th>機関数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民生児童委員(方面)</td> <td>4機関</td> </tr> <tr> <td>町会</td> <td>6機関</td> </tr> <tr> <td>在宅福祉委員会</td> <td>3機関</td> </tr> <tr> <td>介護保険事業所</td> <td>19機関</td> </tr> <tr> <td>職能団体・連協</td> <td>2機関</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>25機関</td> </tr> </tbody> </table> <p>②ネットワーク構築回数 85 回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>懇談会(開催、参加)</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>民児協定例会</td> <td>17回</td> </tr> <tr> <td>町会行事</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>在宅福祉ふれあい事業</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>地域密着運営推進会議</td> <td>46回</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>6回</td> </tr> </tbody> </table>	機関名	機関数	民生児童委員(方面)	4機関	町会	6機関	在宅福祉委員会	3機関	介護保険事業所	19機関	職能団体・連協	2機関	その他	25機関	種別	回数	懇談会(開催、参加)	6回	民児協定例会	17回	町会行事	6回	在宅福祉ふれあい事業	4回	地域密着運営推進会議	46回	その他	6回	<p>・これまで関わりが少なかった町会と地域ケア会議を開催し、町会長や民生委員との連携を図ることができた。</p> <p>・金融機関からの依頼にて出前講座を開催、圏域内の高等学校、専門学校等、教育機関からの出前講座を通じてネットワークを構築することができた。</p> <p>・特に民生児童委員連絡協議会への積極的な参加を意識したことで、新任の民生委員をはじめ一層の連携を図ることができた。</p>																				
機関名	機関数																																																	
民生児童委員(方面)	4機関																																																	
町会	6機関																																																	
在宅福祉委員会	3機関																																																	
介護保険事業所	19機関																																																	
職能団体・連協	2機関																																																	
その他	25機関																																																	
種別	回数																																																	
懇談会(開催、参加)	6回																																																	
民児協定例会	17回																																																	
町会行事	6回																																																	
在宅福祉ふれあい事業	4回																																																	
地域密着運営推進会議	46回																																																	
その他	6回																																																	
実態把握	<p>①利用者基本情報作成状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画数値</td> <td>966件</td> <td>995件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>作成数</td> <td>1,013件</td> <td>981件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>104.9%</td> <td>98.6%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>再)地域支援事業分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作成数</td> <td>526件</td> <td>516件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>51.9%</td> <td>52.6%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>②実態把握経路</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ 予防給付</td> <td>487件</td> <td>465件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ 見守り</td> <td>0件</td> <td>30件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ モニタリング</td> <td>0件</td> <td>9件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ その他</td> <td>526件</td> <td>477件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	計画数値	966件	995件		作成数	1,013件	981件		達成率	104.9%	98.6%			H28	H29	H30	作成数	526件	516件		割合	51.9%	52.6%			H28	H29	H30	■ 予防給付	487件	465件		■ 見守り	0件	30件		■ モニタリング	0件	9件		■ その他	526件	477件		<p>・介護予防支援事業対象者以外の実態把握数(地域支援事業)を全体の50%以上とし、平成29年度の目標を達成することができた。</p> <p>・民生委員との連携を強化したため、早期に相談がよせられることが多くなった。早期に相談対応が可能となったことにより、地域住民へのアプローチが早い段階で可能となった。</p> <p>・ケースを通じてのケア会議や懇談会を開催することで、より町会や民生委員との連携を深めることができた。</p> <p>・そのため、新規地域住民の実態把握へと繋がった。</p>
	H28	H29	H30																																															
計画数値	966件	995件																																																
作成数	1,013件	981件																																																
達成率	104.9%	98.6%																																																
	H28	H29	H30																																															
作成数	526件	516件																																																
割合	51.9%	52.6%																																																
	H28	H29	H30																																															
■ 予防給付	487件	465件																																																
■ 見守り	0件	30件																																																
■ モニタリング	0件	9件																																																
■ その他	526件	477件																																																
総合相談	<p>①総合相談対応件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実件数</td> <td>1,816件</td> <td>1,045件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延件数</td> <td>1,361件</td> <td>1,396件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>②相談形態内訳(延)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面接</td> <td>94件</td> <td>76件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電話</td> <td>552件</td> <td>576件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>訪問</td> <td>1,144件</td> <td>708件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>26件</td> <td>36件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>③対象者の年齢内訳(実)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65歳以上</td> <td>1,319件</td> <td>1,019件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>65歳未満</td> <td>42件</td> <td>26件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	実件数	1,816件	1,045件		延件数	1,361件	1,396件			H28	H29	H30	面接	94件	76件		電話	552件	576件		訪問	1,144件	708件		その他	26件	36件			H28	H29	H30	65歳以上	1,319件	1,019件		65歳未満	42件	26件		<p>①②③</p> <p>・実件数が28年度に比べて減少するも、包括に相談する前の段階で、一部の民生委員や関係機関等によるアプローチにより問題が解決されたため、センターの総合相談へ反映されなかった可能性があり、日頃の連携により各機関の対応力が高まったと考える。</p>				
	H28	H29	H30																																															
実件数	1,816件	1,045件																																																
延件数	1,361件	1,396件																																																
	H28	H29	H30																																															
面接	94件	76件																																																
電話	552件	576件																																																
訪問	1,144件	708件																																																
その他	26件	36件																																																
	H28	H29	H30																																															
65歳以上	1,319件	1,019件																																																
65歳未満	42件	26件																																																

平成30年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
<p>①ケア会議を開催したことのない町会での会議開催。</p> <p>②新しく新任された民生委員等へのリーフレット配布や懇談会の開催。</p> <p>③①②を実施することで、地域から孤立し、支援が必要な高齢者を早期発見できる地域づくりが構築される。</p>	<p>【町会や民生員等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙(出前講座一覧表含む)を配布し、積極的に出前講座を開催する。</li> <li>・圏域内町会行事(季節行事含む)の積極的な参加。</li> <li>・民生児童委員連絡協議会への定期的な参加。連絡協議会では、リーフレット等の配布のみだけでなく、個人情報に留意しつつ個別のケース対応や事例等を紹介し、センターの役割をイメージしてもらえるように努める。</li> <li>・町会役員や在宅福祉委員と懇談会等を開催し、これまで関係性の薄かった機関との連携を図る。</li> <li>・町会長の変更となった町との連携(ケア会議や懇談会の打診)</li> </ul> <p>【介護保険事業所やその他職能団体、民間企業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例検討会やテーマを設定しての懇談会や勉強会開催。</li> <li>・市内中心部圏域であるため、商工会関係者等との連携(広報紙の配布や各種リーフレットの配布)。</li> <li>・教育機関と連携し認知症サポーター養成講座の開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク構築回数</li> <li>・ネットワーク構築機関</li> </ul>
<p>①見守りネットワーク事業を通じて、新たな後期高齢者への実態把握を強化する。</p> <p>②実態把握をした高齢者への支援について、個人情報保護法を遵守しつつ、民生委員と早い段階で連携を図る。(連絡協議会参加時に、包括と民生委員との連携について協議がなされ、特に相互の連携の在り方について質問や提案があったため)</p> <p>③町会関係者や在宅福祉委員からの相談件数が前年と比較して増加する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話相談受付のみで相談を終了させるのではなく、訪問し実態把握を行うことを原則とする。</li> <li>・センター営業日には、当番制により常時相談職がセンター内に待機している環境を整備する。</li> <li>・見守りネットワーク事業を通じて、民生委員と「顔と顔の見える関係性」を強化する。</li> <li>・広報紙等を通じて、センターの場所や連絡先について、あらためて地域住民へ周知を図る。</li> <li>・町会行事への積極的な参加。</li> <li>・町会へ対して出前講座可能一覧表を配布し、積極的に出前講座を受け付ける。</li> <li>・町会関係者へのアプローチを基に、相談件数の多い民生委員からの相談受付件数と町会関係者(在宅福祉委員含む)からの相談件数を比較し分析する。 ※分析方法としては、個別に町会役員や在宅福祉委員との懇談や地域ケア会議などを活用し分析を図る。</li> <li>・介護や支援が重篤化になる前の早期発見、早期対応、早期連携の重要性についての知識を共有できるよう、具体的な事例等を活用し、実態把握の重要性を周知する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者基本情報作成数と計画数値に対する達成率</li> <li>・利用者基本情報作成の内訳と地域支援事業分の計画数値に対する達成率</li> </ul>
<p>①②③について引き続き、民生委員や町会等との連携および介護保険事業者との連携により、早期発見、早期対応できる環境を整備する。昨年度同様にケース事例検討を通じて、地域の社会資源等の活用について理解を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙の定期発行および配布。</li> <li>・町会や関係機関からの出前講座等の依頼を積極的に受け付ける。</li> <li>・民生委員との懇談会や地域ケア会議を通じて連携を図り、早期発見、早期対応の体制を整備する。</li> <li>・センター内の事例検討会や勉強会、研修会を通じて、社会資源の理解と活用方法について学ぶ。</li> <li>・ワンストップサービスの重要性を職員間で理解し、総合相談業務を実践できるよう、OJTやOFFJTの機会を前年度よりも多く設ける。</li> <li>・介護保険制度改正により示された障害者福祉の領域について理解を深めるとともに、障害領域関係機関との連携構築に努める。(研修会等の積極的な参加)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談対応件数(実・延)</li> <li>・相談形態内訳</li> <li>・相談者の続柄内訳</li> <li>・相談内容内訳</li> </ul>

(7) 総合相談支援業務

事業内容	平成29年度 活動評価			
	実績			評価
総合相談	④相談者の続柄内訳(重複あり)			④ ・平成28年度と比較すると、本人および家族からの相談は減少傾向にあるが、民生児童委員や町会・在宅福祉委員からの相談件数は増加した。 また、介護支援専門員や医療関係者とは地域ケア会議や懇談会等を通じて連携を図ってきたことで、昨年度よりも相談件数は増加した。
		H28	H29	
	本人	930件	601件	
	家族親族	495件	331件	
	民生委員	64件	79件	
	町会・在宅福祉		20件	
	知人・近隣	—	27件	
	介護支援専門員		128件	
	介護保険事業所	230件	27件	
	医療機関		105件	
	行政機関		64件	
	その他	97件	15件	
	⑤相談内容内訳(重複あり)			⑤ ・介護保険・総合事業に関する相談件数は減少したが、介護予防や認知症、住まいについての相談は増加したため、今後も特に認知症施策についての事業については、関係機関との連携を図っていく必要性がある。
		H28	H29	
	介護保険・総合事業	1,350件	784件	
	保健福祉サービス	302件	253件	
	介護予防	—	70件	
	健康	43件	34件	
	認知症		90件	
	住まい	—	81件	
	権利擁護	—	34件	
	その他	121件	50件	
保健福祉サービス等の利用調整	①利用調整状況			① ・広報紙を活用し、適切に保健福祉サービス等を地域へ周知することができた。
		H28	H29	
	調整件数	216件	282件	
	②モニタリング実施状況			② ・入院や対象者の都合により、モニタリングを実施できない利用者がいた。(年度内入院中等)
		H28	H29	
	対象者数	50件	27件	
	実施数	50件	25件	
	実施率	100.0%	92.6%	
住民に対する広報・啓発活動	①住民に対する広報・啓発回数			① ・出前講座やケア会議を通して、意識的に広報紙やパンフレットを配布。認知症サポーター養成講座も含め、周知活動は昨年度よりも増やす事ができた。
		H28	H29	
	広報紙の発行	2回	2回	
	パンフレット等配布	13回	21回	
	出前講座・講師派遣	10回	13回	
	認知症サポーター養成講座	8回	9回	
	②総合相談にかかる広報・啓発回数			② ・介護保険制度で補えない地域課題が増えた為、保健福祉サービスや認知症についての啓発が大幅に増加。今後も認知症への啓発は強化すべきと感じる。
		H28	H29	
	センター業務	17回	21回	
	介護保険制度	9回	6回	
	保健福祉サービス	13回	21回	
	認知症	19回	27回	
	③総合相談にかかる出前講座・講師派遣の依頼機関 民生児童委員協議会第11方面、柳町町会、社会福祉協議会、元気deサロンin柳町、コミュニティハウスよしずみ、中部方面五稜郭地区「健康づくり教室」			③ ・周知に伴い、町会や民生委員、サービス事業所など多方面から講座依頼があり、幅広い年層の方々にセンターの役割の理解が得られた。

平成30年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
<p>①圏域内のケアマネジャーや介護事業所との連携を図る場を整備する。(懇談会、研修会、会議等)</p> <p>②新任された民生委員との連携を図り、地域関係者からの相談をを早期に受付できる環境を整備する。</p> <p>③在宅福祉委員及び地域関係者(近隣住民む)からの相談が増える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな町会での健康づくり教室を開催し、教室を通じて地域住民の保健意識(介護予防含め)を高める。</li> <li>・地域ケア会議や出前講座、研修会等の開催により、地域関係者(商業施設や金融業、教育機関等)と連携を図り、「顔と顔の見え関係性」を構築する。</li> <li>※顔と顔が見える関係性を構築することにより、軽微な相談内容でも躊躇せずにセンターに相談が寄せられる体制を作る。(対象者支援において「軽微な状態」が必ずしも「軽微な状態」ではない可能性があるため、地域住民にとって相談しやすいセンターと認識してもらう)</li> <li>・在宅福祉委員会と懇談会や研修会などを通じて連携を図る。</li> <li>・朝礼や定期的なミーティングにより、センター職員間で地域の社会資源を把握する。</li> <li>・朝礼や定期的なミーティングにより、地域情報を集約する。(町内におけるキーパーソン等の情報整理)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談対応件数(実・延)</li> <li>・相談形態内訳</li> <li>・相談者の続柄内訳</li> <li>・相談内容内訳</li> </ul>
<p>①保健福祉サービスの内容が周知される。</p> <p>②サービス利用継続者の状況を定期的に把握できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙の内容に保健福祉サービスを取り入れる。</li> <li>・広報紙を活用し、町会や民生委員連絡協議会等で周知を行う。</li> <li>・定期的なモニタリング時に担当している居宅介護支援事業所のケアマネと連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用調整件数</li> <li>・モニタリング実施数(率)</li> </ul>
<p>①地域住民や関係者へセンターの役割や相談窓口としての周知を拡大する。</p> <p>②開催されていない機関で認知症サポーター養成講座を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙やパンフレットの配布、出前講座でセンターの役割を周知。相談窓口としての機能を強化する。</li> <li>・講座開催時には、センターでの実例などを用いながら説明し、専門職以外の関係者にも理解できるようにする。</li> <li>・関係者や地域住民へ介護保険制度の説明や認知症サポーター養成講座を開催し、相互理解(認知症の方、認知症対象者の家族)や介護予防への意識向上に努める。</li> <li>・研修会や行事等に参加する事で、情報共有の機会を持ち、住民のニーズに沿った講座を提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住民に対する広報・啓発回数</li> <li>・広報紙の発行回数</li> <li>・パンフレット等配布回数</li> <li>・出前講座・講師派遣回数</li> <li>・認知症サポーター養成講座の回数</li> <li>○総合相談にかかる広報・啓発</li> <li>・センター業務、介護保険制度、保健福祉サービス、認知症(認サポ含む)</li> <li>・出前講座・講師派遣の依頼機関</li> </ul>

(イ) 権利擁護業務

【根拠法令】介護保険法115条の45第2項第2号

【目的】高齢者等が地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から、高齢者等の権利擁護のため、必要な支援を行う。

事業内容	平成29年度 活動評価																																																																																																									
	実績	評価																																																																																																								
権利擁護相談 (高齢者虐待・困難事例への対応、成年後見制度の利用促進・消費者被害の防止に関する対応)	<p>①権利擁護相談対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対応件数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実件数</td> <td>20件</td> <td>30件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ件数</td> <td>216件</td> <td>206件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <li>対応事案内訳(重複あり)</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者虐待</td> <td>16件</td> <td>6件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>セルフネグレ外</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>成年後見等</td> <td>8件</td> <td>1件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消費者被害</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>困難事例</td> <td>35件</td> <td>158件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0件</td> <td>15件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <li>相談者・通報者</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケアマネ</td> <td>3件</td> <td>5件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業所</td> <td>3件</td> <td>1件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>住民</td> <td>3件</td> <td>2件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>民生委員</td> <td>2件</td> <td>6件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>本人</td> <td>6件</td> <td>1件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>親族</td> <td>8件</td> <td>5件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>行政</td> <td>22件</td> <td>23件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>警察</td> <td>8件</td> <td>1件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医療機関</td> <td>8件</td> <td>3件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不明匿名</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>8件</td> <td>15件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </ul> <p>②高齢者虐待対応状況(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対応件数</li> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実件数</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>終結件数</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>終結率</td> <td>50.0%</td> <td>50.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </ul>		H28	H29	H30	実件数	20件	30件		延べ件数	216件	206件			H28	H29	H30	高齢者虐待	16件	6件		セルフネグレ外	0件	0件		成年後見等	8件	1件		消費者被害	0件	1件		困難事例	35件	158件		その他	0件	15件			H28	H29	H30	ケアマネ	3件	5件		事業所	3件	1件		住民	3件	2件		民生委員	2件	6件		本人	6件	1件		親族	8件	5件		行政	22件	23件		警察	8件	1件		医療機関	8件	3件		不明匿名	0件	0件		その他	8件	15件			H28	H29	H30	実件数	2件	2件		終結件数	1件	1件		終結率	50.0%	50.0%		<p>・平成28年度と比較して、民生委員からの相談がやや増加傾向にある。これは、民生児童委員協議会への参加や地域ケア会議の開催、個別ケースへの対応を通して、連携を強化してきた成果であると考えられる。(中央部第2圏域では、虐待ケースや困難ケースとしての対応件数が比較的少ないが、要因としては民生委員と密な連携を図ってきたことにより、虐待ケースや困難ケースへと事態が重篤化してしまう前の早い段階で相談がよせられ、ケース支援を開始できているためと考えられる)その一方で、発見に至っていないケースの存在も考えられるため、今後とも早期発見・対応が可能となるような活動は継続する必要がある。</p>
		H28	H29	H30																																																																																																						
実件数	20件	30件																																																																																																								
延べ件数	216件	206件																																																																																																								
	H28	H29	H30																																																																																																							
高齢者虐待	16件	6件																																																																																																								
セルフネグレ外	0件	0件																																																																																																								
成年後見等	8件	1件																																																																																																								
消費者被害	0件	1件																																																																																																								
困難事例	35件	158件																																																																																																								
その他	0件	15件																																																																																																								
	H28	H29	H30																																																																																																							
ケアマネ	3件	5件																																																																																																								
事業所	3件	1件																																																																																																								
住民	3件	2件																																																																																																								
民生委員	2件	6件																																																																																																								
本人	6件	1件																																																																																																								
親族	8件	5件																																																																																																								
行政	22件	23件																																																																																																								
警察	8件	1件																																																																																																								
医療機関	8件	3件																																																																																																								
不明匿名	0件	0件																																																																																																								
その他	8件	15件																																																																																																								
	H28	H29	H30																																																																																																							
実件数	2件	2件																																																																																																								
終結件数	1件	1件																																																																																																								
終結率	50.0%	50.0%																																																																																																								
医療機関とのネットワーク構築	<p>①個別ケース支援連携数 16件</p> <p>②ネットワーク構築方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個別ケースの対応時における連携</li> <li>「相談シート」の配布</li> </ul> <p>③連携およびネットワーク構築機関</p> <p>函館中央病院、市立函館病院、五稜郭病院、国立病院機構 函館病院、黒田川添クリニック、伊藤メンタルクリニック、函館渡辺病院、函館市医師会病院、柳川内科胃腸科、飯田内科クリニック、なるかわ病院、恩村内科医院、五稜郭メンタルクリニック、今整形外科、今内科、こんクリニック時任</p>	<p>・虐待疑いや病院受診に拒否的なケースの対応に際して連携することが出来た。</p> <p>・医療相談室を通じて、「相談シート」を配布することができた。</p> <p>・平成28年度に「相談シート」を配布した個人病院から、介護保険サービスの利用が必要な高齢者についての相談を受けた。</p>																																																																																																								



平成30年度 活動計画

事業目標	計画	評価指標
<p>①高齢者虐待や成年後見制度、消費者被害、その他の困難事例等について早期発見・対応が出来るようなケアマネジャーや民生委員、在宅福祉委員、町会役員等とのネットワーク構築が継続できる。</p> <p>②当センターに勤務する全ての相談職員について、権利擁護ケースへの対応力や知見を向上できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座や各種研修会、懇談会等において権利擁護に関するリーフレット等を配布する。</li> <li>・居宅介護支援事業所のケアマネジャー等を対象として研修や懇談会等を実施する。</li> <li>・民生児童委員協議会への参加等により民生委員と互いに相談しやすい関係性を構築・維持する。</li> <li>・地域の民生委員や在宅福祉委員等が担当高齢者の件について、気軽に相談することのできる環境づくり。(これまでも、アポイント等なく民生委員がセンターへ寄ってきて、気になる地域住民のことについて気兼ねなく相談してくれている)</li> </ul> <p>○民生委員との連携が強化できているものの、民生委員によって権利擁護に関する知識や意識の差があるものと考えられることから、民生委員との連携に際しては、下記の点に留意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生児童委員協議会等において、権利擁護ケースの実例について報告すること等により、権利擁護ケースを予防・早期発見するための視点や知識具体的に理解して頂けるようにする。</li> </ul> <p>○当センター職員のスキルアップ対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当センターの始業時のミーティングで、権利擁護ケースについて経過等を共有し、対応方法等の検討を行う。また、必要に応じてセンター内での研修を実施する。</li> <li>・同法人の地域包括支援センターこん中央では、権利擁護ケースへの対応事例が多いことから、電話や日常的な打ち合わせの中で対応方法等についての情報共有に努め、必要に応じて合同での事例検討会等を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○権利擁護相談対応状況</li> <li>・対応件数</li> <li>・対応事案内訳</li> <li>・相談・通報者内訳</li> <li>○高齢者虐待対応状況</li> <li>・通報件数</li> <li>・通報者内訳</li> <li>・虐待実件数</li> <li>・終結件数(率)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療関係者等と相互に相談しやすい関係が構築できる。</li> <li>・虐待の疑いのある高齢者が発見された場合には、「相談シート」を活用し、早急に支援を開始することが可能となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護ケース以外についても、連絡やカンファレンス等に際し医療関係者との連携を意識した対応を心がけ、互いに相談しやすい関係作りに努める。</li> <li>・地域ケア会議等の実施に際し、必要に応じて医療関係者への参加を呼びかける。</li> <li>・「相談シート」を配布した個人病院から問い合わせがあった場合は、再度訪問する等の方法により、活用方法等の解説を行なう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別ケース連携数</li> <li>・ネットワーク構築方法</li> <li>・ネットワーク構築機関</li> <li>・「相談シート」の活用について、周知した回数</li> <li>・高齢者虐待通報者内訳</li> </ul>

(イ) 権利擁護業務

事業内容	平成29年度 活動評価																	
	実績			評価														
権利擁護業務に関するネットワーク構築	①高齢者虐待に関する研修会や事例検討会の開催			<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のケアマネジャー等に対して研修等を実施することにより、ネットワーク構築に努めた。</li> <li>高齢者の権利侵害の危険性が高いと考えられるケースについてケアマネジャー等と連携して対応することで、ネットワークを強化することが出来た。</li> <li>その一方でケアマネジャーによって権利擁護に関する知識や意識の違いがある可能性は考えられる。</li> </ul>														
	<table border="1"> <tr><td></td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td></tr> <tr><td>開催回数</td><td>2回</td><td>3回</td><td></td></tr> <tr><td>参加機関(実)</td><td>15件</td><td>16件</td><td></td></tr> <tr><td>参加者数(延)</td><td>23人</td><td>47人</td><td></td></tr> </table> <p>● テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>センター内事例検討会 「高齢者虐待及び成年後見制度の概論について」</li> <li>権利擁護研修会 「高齢者虐待及び成年後見制度について」</li> <li>ケアプラン指導研修(懇談会) 「これって虐待？」</li> </ul>		H28		H29	H30	開催回数	2回	3回		参加機関(実)	15件	16件		参加者数(延)	23人	47人	
	H28	H29	H30															
開催回数	2回	3回																
参加機関(実)	15件	16件																
参加者数(延)	23人	47人																
センター内スキルアップ対策	②高齢者虐待に関する研修会や事例検討会の参加			<ul style="list-style-type: none"> <li>始業時のミーティングで権利擁護ケースの経過について共有し、対応方法等について検討を行なった。</li> <li>スキルアップ対策の実施により、社会福祉士以外の職員についても、社会福祉士との協力の下に虐待疑いケース等の対応に当たることができている。</li> <li>その一方で権利擁護ケースそのものが少ないため、対応の経験回数が少ないことにより技術の低下が懸念される。</li> </ul>														
	<table border="1"> <tr><td></td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td></tr> <tr><td>参加回数</td><td>2回</td><td>1回</td><td></td></tr> </table>		H28		H29	H30	参加回数	2回	1回									
		H28	H29		H30													
	参加回数	2回	1回															
	③困難事例に関する研修会や事例検討会の開催																	
<table border="1"> <tr><td></td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td></tr> <tr><td>開催回数</td><td>3回</td><td>3回</td><td></td></tr> <tr><td>参加機関(実)</td><td>22件</td><td>23件</td><td></td></tr> <tr><td>参加者数(延)</td><td>70人</td><td>49人</td><td></td></tr> </table> <p>● テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ケアプラン指導研修(懇談会) 「セルフネグレクトへの支援について」</li> <li>センター内事例検討会 「他者の介入を拒否する高齢者支援について」</li> <li>ケアプラン指導研修(事例検討会) 「認知症夫婦の在宅生活を支えることについて」</li> </ul>		H28	H29	H30	開催回数	3回	3回		参加機関(実)	22件	23件		参加者数(延)	70人	49人			
	H28	H29	H30															
開催回数	3回	3回																
参加機関(実)	22件	23件																
参加者数(延)	70人	49人																
④困難事例に関する研修会や事例検討会の参加																		
<table border="1"> <tr><td></td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td></tr> <tr><td>参加回数</td><td>1回</td><td>3回</td><td></td></tr> </table>		H28	H29	H30	参加回数	1回	3回											
	H28	H29	H30															
参加回数	1回	3回																
⑤成年後見制度(日常生活自立支援事業活用を含む)・消費者被害に関する研修会や事例検討会の開催																		
<table border="1"> <tr><td></td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td></tr> <tr><td>開催回数</td><td>1回</td><td>2回</td><td></td></tr> <tr><td>参加機関(実)</td><td>15件</td><td>16件</td><td></td></tr> <tr><td>参加者数(延)</td><td>23人</td><td>27人</td><td></td></tr> </table> <p>● テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>センター内事例検討会 「高齢者虐待及び成年後見制度の概論について」</li> <li>権利擁護研修会 「高齢者虐待及び成年後見制度について」</li> </ul>		H28	H29	H30	開催回数	1回	2回		参加機関(実)	15件	16件		参加者数(延)	23人	27人			
	H28	H29	H30															
開催回数	1回	2回																
参加機関(実)	15件	16件																
参加者数(延)	23人	27人																
⑥成年後見制度(日常生活自立支援事業活用を含む)・消費者被害に関する研修会や事例検討会の参加																		
<table border="1"> <tr><td></td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td></tr> <tr><td>参加回数</td><td>6回</td><td>6回</td><td></td></tr> </table>		H28	H29	H30	参加回数	6回	6回											
	H28	H29	H30															
参加回数	6回	6回																
住民に対する広報・啓発活動	①権利擁護業務にかかる広報・啓発回数			<ul style="list-style-type: none"> <li>圏域内の町会や企業、高齢者施設職員を対象として出前講座を行い、高齢者の権利擁護に関する知識等の普及・啓発に努めることができた。</li> </ul>														
	<table border="1"> <tr><td></td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td></tr> <tr><td>高齢者虐待</td><td>4回</td><td>5回</td><td></td></tr> <tr><td>成年後見</td><td>4回</td><td>6回</td><td></td></tr> <tr><td>消費者被害</td><td>5回</td><td>4回</td><td></td></tr> </table>		H28		H29	H30	高齢者虐待	4回	5回		成年後見	4回	6回		消費者被害	5回	4回	
	H28	H29	H30															
高齢者虐待	4回	5回																
成年後見	4回	6回																
消費者被害	5回	4回																
②権利擁護業務にかかる出前講座・講師派遣の依頼機関 〔太陽生命、コミュニティハウスよしずみ、柳町町会〕																		

平成30年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
①権利擁護ケースの早期発見・対応を可能とするような、地域住民や関係機関等とのネットワークが構築できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅介護支援事業所のケアマネジャー等を対象として研修や懇談会等を実施することでネットワーク構築に努める。</li> <li>・研修や懇談会の実施に際しては、ケアマネジャーの権利擁護に関する知識や意識の差が解消できるよう、内容や実施方法を工夫する。</li> </ul> <p>○民生児童委員協議会への参加等により民生委員とのネットワーク構築に努める。参加に際しては以下の点に留意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生児童委員協議会等において権利擁護ケースの実例について報告すること等により、権利擁護ケースを予防・早期発見するための視点や知識を具体的に理解して頂けるようにする。</li> <li>・地域ケア会議等の実施に際し、各関係機関に積極的に参加を呼びかけることにより、ネットワーク構築に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会や事例検討会等の開催回数と参加機関、参加者数</li> <li>・研修会や事例検討会等の参加回数</li> </ul>
①当センターの全ての相談職員について、権利擁護ケースに関する対応力や知見が向上する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当センターの始業時のミーティングで権利擁護ケースの経過について共有し、対応方法等について検討を行なう。また、必要に応じてセンター内での研修や事例検討会等を実施する。</li> <li>・同法人内の地域包括支援センターこん中央では権利擁護ケースへの対応事例が多いことから、電話や日常的な打合せの中で対応方法等についての情報共有に努め、必要に応じて合同での事例検討会等を実施する。</li> <li>・他団体が開催する研修会や事例検討会等への参加により、権利擁護に関する知見を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター内における研修会、事例検討会等の開催回数と参加人数。</li> <li>・センター外における研修会、事例検討会の参加回数と参加人数。</li> </ul>
①高齢者の権利侵害が疑われるような場合地域住民等から相談していただける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民等を対象として出前講座を実施したり、リーフレット等を配布することにより、高齢者の権利擁護に関する一般的な知識（函館市発行のリーフレットの掲載内容程度の知識）の普及・啓発に努める。また、その際に具体例も交えて話すこと等により、高齢者の権利侵害の予防・早期発見のポイントについて分かりやすい解説に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット・リーフレット等配布回数。</li> <li>・出前講座の開催や講師派遣による周知回数と対象。</li> </ul>

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

【根拠法令】介護保険法115条の4第2項第3号

【目的】高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、個々の高齢者等の状況や変化に応じて、包括的かつ継続的に支援していくための地域における他職種相互の連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援を行う。

事業内容	平成29年度 活動評価										
	実績	評価									
包括的・継続的 ケアマネジメント体制 の構築	①合同ケアプラン指導研修会開催状況										
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td></td> </tr> </table>		H28	H29	H30	開催回数	2回	2回			
		H28	H29	H30							
	開催回数	2回	2回								
	・ 圏域の参加状況										
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>1回目</td> <td>2回目</td> </tr> <tr> <td>参加事業所数</td> <td>9件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>参加率</td> <td>75.0%</td> <td>75.0%</td> </tr> </table>		1回目	2回目	参加事業所数	9件	9件	参加率	75.0%	75.0%	
		1回目	2回目								
	参加事業所数	9件	9件								
	参加率	75.0%	75.0%								
	②圏域内ケアプラン指導研修開催状況										
	・ 4月20日 ベルクラシック										
	テーマ	これって虐待？									
	連携状況	圏域内外のケアマネジャー、医療機関との情報。意見交換									
	参加事業所数	<table border="1"> <tr> <td>圏域内</td> <td>居宅介護支援 7件 小規模多機能 1件</td> </tr> <tr> <td>圏域外等</td> <td>9件</td> </tr> </table>	圏域内	居宅介護支援 7件 小規模多機能 1件	圏域外等	9件					
	圏域内	居宅介護支援 7件 小規模多機能 1件									
	圏域外等	9件									
	参加者数	18人									
	・ 8月9日 コミュニティーホールこん										
	テーマ	ゴミ屋敷をどう支援するか									
	連携状況	圏域内外のケアマネジャー、障害支援、医療機関と情報交換									
参加事業所数	<table border="1"> <tr> <td>圏域内</td> <td>居宅介護支援 9件 小規模多機能 1件</td> </tr> <tr> <td>圏域外等</td> <td>7件</td> </tr> </table>	圏域内	居宅介護支援 9件 小規模多機能 1件	圏域外等	7件						
圏域内	居宅介護支援 9件 小規模多機能 1件										
圏域外等	7件										
参加者数	31人										
・ 11月15日 Gスクエア											
テーマ	認知症夫婦の在宅生活をどこまで支えられるか										
連携状況	少人数事業所間での情報交換										
参加事業所数	<table border="1"> <tr> <td>圏域内</td> <td>居宅介護支援 7件 小規模多機能 0件</td> </tr> <tr> <td>圏域外等</td> <td>0件</td> </tr> </table>	圏域内	居宅介護支援 7件 小規模多機能 0件	圏域外等	0件						
圏域内	居宅介護支援 7件 小規模多機能 0件										
圏域外等	0件										
参加者数	9人										
・ 2月16日 明和園											
テーマ	総合事業・介護予防ケアマネジメントについて										
連携状況	行政・医療機関										
参加事業所数	<table border="1"> <tr> <td>圏域内</td> <td>居宅介護支援 13件 小規模多機能 0件</td> </tr> <tr> <td>圏域外等</td> <td>27件</td> </tr> </table>	圏域内	居宅介護支援 13件 小規模多機能 0件	圏域外等	27件						
圏域内	居宅介護支援 13件 小規模多機能 0件										
圏域外等	27件										
参加者数	38人										
		①② 目標達成									
		<ul style="list-style-type: none"> <li>合同研修、圏域内の事例検討会、懇談会を目標回数を開催できた。</li> <li>合同研修の参加率は75%、居宅のケアマネジャーの参加率は高いが、依然と小規模、施設のケアマネジャーの参加率は10%~30%と低い。</li> <li>参加の少ない居宅に対して個別に訪問など試みたが、勤務体制などの状況で参加が困難となっていた。</li> <li>小規模や施設系のケアマネジャーも、同様に勤務上の問題がある。参加が困難なケアマネに対しては、個別に情報提供などを行っていく必要性がある事が明確となった。</li> <li>圏域内の事例検討会、懇談会では回を重ねる事で、ケアマネジャー同士、障害や医療など多職種の相談機関と繋がり関係性を深める機会となった。</li> <li>少人数の居宅事業所との事例検討会を開催する事で、ひとり、ひとりの率直な意見や、新人ケアマネジャーの指導方法などの意見交換ができる機会となった。</li> <li>研修会等でのアンケートを参考に開催時間、時期を考慮し開催した事で参加する事業所は安定した。</li> </ul>									

平成30年度 活動計画

事業目標	計画	評価指標
<p>計画数値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプラン指導研修(合同) 2回</li> <li>・事例検討会 1回</li> <li>・懇談会 1回</li> </ul> <p>①地域のケアマネジャーが対人援助職としてのスキルアップ、ケアマネジメント力の向上が出来る。</p> <p>①地域包括ケアシステムの構築を意識し、医療福祉、様々な社会資源を把握し活用できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプラン研修会の開催</li> <li>・圏域内の居宅事業所を訪問し、事業所の体制や事業所内の研修体制などの聞き取りを行う。</li> <li>・研修会、事例検討会などのアンケート、ケアマネジャーへの支援のデータを基に研修会、事例検討会の内容を企画する。</li> <li>・圏域内の事業所の主任ケアマネ、管理者と協力し研修会、事例検討会など、スキルアップ出来る機会を作る。</li> <li>・障害者相談機関と協力し事例検討会を開催し圏域内のケアマネジャーへ周知し相談援助職としてのスキルアップを図る。</li> <li>・医療機関、障害、福祉支援機関と交流し関係性を深める機会を作る。(ミニ事例検会・ケアマネかふえ)</li> <li>・地域の社会資源などについて地域のケアマネへ情報発信を行う。</li> <li>・小規模多機能施設・施設系のケアマネジャーに対して、運営推進会議への参加時に情報交換などを行い、サポートできるよう関係性を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプラン指導研修開催回数(他職種連携、主任CM連携)</li> <li>・参加数(率)</li> </ul>

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

事業内容	平成29年度 活動評価			
	実績			評価
介護支援専門員に対する個別支援	①支援件数			
		H28	H29	H30
	ケース数	8件	6件	
	対応回数	52回	17回	
	終結件数	6件	3件	
	終結率	75.0%	50.0%	
	②相談者(重複あり)			
		H28	H29	H30
	ケアマネ	4件	4件	
	本人	3件	1件	
	家族	0件	0件	
	行政	0件	1件	
	その他	1件	2件	
	③対応方法(重複あり)			
		H28	H29	H30
	情報提供	0件	0件	
	支援方針助言	3件	5件	
	計画作成助言	0件	0件	
	地域とのつながり	—	1件	
	ケアマネ変更支援	6件	2件	
その他	3件	0件		
④課題の背景(重複あり)				
	H28	H29	H30	
本人	7件	6件		
家族	0件	6件		
ケアマネ	3件	3件		
その他	3件	2件		
<p>・個別支援に対して終結を意識し、ケアマネジャー自身の意向を汲み、指導的にならずに関わる事が出来た事で、問題解決力が向上されたと思われる。</p> <p>・懇談会、研修会などで顔の見える関係が出来た事で、困難ケースに至る前に対応した事例が多く、ケアマネジャーへの支援数の減少に繋がっていると思われる。</p> <p>・地域とのつながりを視野に支援を行っていたが、ケア会議、事例検討などの開催に抵抗感を感じているケアマネジャーが存在する。抵抗感を軽減できるようケア会議など地域と繋がる取り組みへの工夫必要との課題が明確となった。</p>				

平成30年度 活動計画

事業目標	計画	評価指標
<p>①困難ケースに関わらず相談しやすい環境をつくり、早期に対応し、ケアマネジャー自身の問題解決力が向上する。</p> <p>②地域のケアマネジャーが、地域と繋がる機会を作り、ケア会議、事例検討会カンファレンスなどへ気兼ねなく参加できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内事業所への訪問、電話などで事業所の状況を把握し、情報交換を行う。</li> <li>・地域のケアマネジャーが相談しやすいよう、委託事業は担当制として対応する。</li> <li>・個別相談、困難事例の情報を共有しセンター内で検討し、支援方針を決定する。(必要時他機関へ相談する)</li> <li>・地域ケア会議、事例検討会、カンファレンスの開催に際し、地域のケアマネジャーが参加しやすい環境づくりを意識的に行う。             <ul style="list-style-type: none"> <li>①センター職員が地域との関係性を深める。</li> <li>②事例検討会、研修会などで、医療、福祉など関係機関と繋がる機会を作る。</li> </ul> </li> <li>・個別ケースの相談に際しては、迅速に対応しケアマネジャーの対応能力を見極め、助言、同行訪問、カンファレンスの開催など必要に応じ支援を行う。</li> <li>・地域のケアマネジャーが地域の民生委員、在宅福祉委員、町会役員の方々と、気軽に話しあえるよう同行訪問をするなど、サポートを行う。</li> <li>・センター内研修や、他機関と共同し事例検討会を開催し、センター職員の困難事例に対して解決策、対応能力のスキルアップを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援数</li> <li>・終結数(率)</li> <li>・対応方法</li> <li>・課題の背景</li> <li>・地域とのつながりを視野に入れ支援したケース数</li> </ul>

(I) 地域ケア会議推進事業

【根拠法令】介護保険法115条の48

【目的】地域包括ケアシステムの構築のため、地域ケア会議を開催し、介護サービスだけでなく、様々な社会資源が有機的に連携することができる環境を整備し、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるよう支援を行う。

事業内容	平成29年度 活動評価			
	実績			評価
個別ケースの検討を行う地域ケア会議	①開催状況			
		H28	H29	H30
	計画数値	6回	6回	
	開催回数	9回	6回	
	達成率	150.0%	100.0%	
	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域関係者および医療福祉介護の専門職との連携を強化してきたことで、計画値を達成し会議を開催することができた。</li> <li>・居宅介護支援事業所のケアマネジャーについても地域ケア会議へ参加してもらい、地域関係者との連携を図れる体制を構築できた。</li> </ul>			
地域課題の検討を行う地域ケア会議	①開催状況			
		H28	H29	H30
	計画数値	3回	3回	
	開催回数	3回	3回	
	達成率	100.0%	100.0%	
	②テーマおよび主な参加機関			
	・ 4月10日 人見町会館			
	テーマ	地域住民にとって必要な社会資源とは？		
	参加機関	民生委員、町会役員、在宅福祉委員		
	・ 9月22日 白鳥町会館			
テーマ	地域住民が感じている地域福祉における課題とは？			
参加機関	民生委員、町会役員、在宅福祉委員、医療・介護連携支援センター、社会福祉協議会、法テラス			
・ 11月28日 本町町会				
テーマ	地域住民が感じている地域福祉における課題とは？			
参加機関	民生委員、町会役員、介護保険事業所、社会福祉協議会、法テラス、行政			
②明確になった地域課題				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会役員の高齢化、町会活動を担う人が不在（人材不足）、地域住民の町会活動へ対しての関心の無さ、個人情報取り扱いについて、支援を拒否する高齢者の孤立化、空き家や空き店舗の問題、マンション住民との関係性の希薄化、既存の町会活動のあり方について、等。</li> </ul>				
住民に対する広報・啓発活動	①地域ケア会議にかかる広報・啓発回数			
		H28	H29	H30
	地域ケア会議	0回	5回	
	地域の見守り	3回	13回	
③地域ケア会議にかかる出前講座・講師派遣の依頼機関				
コミュニティーハウスよしずみ				
①				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議の開催時や、町会での出前講座実施時などにリーフレット等を活用し広報・啓発ができた。</li> </ul>				
②				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所向けに地域ケア会議について広報を実施することができた。</li> </ul>				



平成30年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
開催回数【6回】 ①認知症やその他の事情により地域から孤立している等、支援を必要とする高齢者に対する地域ケア会議を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ケア会議について、パンフレットや市のリーフレットを活用し、地域や事業所へ対して周知を行う。</li> <li>居宅介護支援事業所のケアマネジャーと地域関係者が連携を図ることができるように会議開催を計画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催回数と計画達成率</li> <li>居宅と地域がつながる仕組みづくりに向けた検討を行った回数</li> <li>地域における認知症の方への支援および地域での見守り体制の構築方法について検討した回数</li> </ul>
開催回数【3回】 ①過去に開催したことのない町会や機関等と地域ケア会議を開催する。 ②過去に開催した地域や町会においても、会議の開催について随時検討を行っていく。 ③地域ケア会議を開催することで、地域で孤立している高齢者の早期発見体制構築や地域において必要とされる社会資源の構築を目指す。 ④地域ケア会議の開催を通じて、関係機関との連携体制の強化や各地域の地域情報をアセスメントする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ケア会議の案内をパンフレットや市のリーフレットを活用し、地域や事業所へ対して周知を行う。</li> <li>個別ケースの検討を行う地域ケア会議等を通じて、個別ケース→地域課題分析に基づき、地域課題の検討を行う地域ケア会議を開催する。</li> <li>地域課題の検討を行う地域ケア会議へ各専門機関等を参集してきたが、平成30年度は特に意識的に地域の居宅事業所のケアマネジャー等を参集する。</li> <li>圏域内ケアマネジャーに対して地域ケア会議について周知する。</li> <li>地域ケア会議を開催していく中で、あらためて関係機関へセンターの役割を周知する。(知ってもらう)                ※関係者の中には、地域の高齢者情報の全てがセンターで把握できていると思っている人もいる。それらの誤解等により、連携がスムーズにいかない場合や連携への足かせになってしまう場面もある。</li> <li>地域との連携をさらに深めるため、個別ケースの検討と地域課題の検討の連携性や整合性を意識し会議の開催を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催数と計画達成率</li> <li>居宅と地域がつながる仕組みづくりに向けた検討を行った回数</li> <li>地域における認知症の方への支援および地域での見守り体制の構築方法について検討した回数</li> </ul>
①町会行事や民生児童委員連絡協議会、ケアマネジャーとの事例検討会などを通じて、地域ケア会議の広報を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>町会行事や民生児童委員連絡協議会出席時にリーフレット等にて周知を行う。</li> <li>認知症サポーター養成講座の開催時に合わせて、ケア会議の周知を行う。</li> <li>事業所との事例検討会や研修会開催時に、合わせて地域ケア会議の周知を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ケア会議にかかる広報・啓発回数</li> <li>地域ケア会議、地域の見守り</li> <li>出前講座、講師派遣の依頼機関</li> </ul>

イ 生活支援体制整備事業

(7) 第2層生活支援コーディネーター業務

【根拠法令】介護保険法115条の4第2項第5号

【目的】地域包括ケアシステムの構築のため、第2層生活支援コーディネーターとして、高齢者の日常生活上の支援体制の充実・強化および高齢者の社会参加の促進が一体的に図られる仕組みづくりを行う。

事業内容	平成29年度 活動評価																	
	実績	評価																
地域のネットワーク構築	①ネットワーク構築機関数 59 機関 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機関名</th> <th>機関数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民生児童委員(方面)</td> <td>4機関</td> </tr> <tr> <td>町会</td> <td>6機関</td> </tr> <tr> <td>在宅福祉委員会</td> <td>3機関</td> </tr> <tr> <td>介護保険事業所</td> <td>19機関</td> </tr> <tr> <td>職能団体・連協</td> <td>2機関</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>25機関</td> </tr> </tbody> </table>	機関名	機関数	民生児童委員(方面)	4機関	町会	6機関	在宅福祉委員会	3機関	介護保険事業所	19機関	職能団体・連協	2機関	その他	25機関	① ・ネットワークを構築した機関数は昨年度より増加した。第2層コーディネーターとして仕組みづくりを行っていくうえで、様々な機関とネットワークを構築できたことにより、今後の業務を円滑に実施することが可能となる。  ② ・センター開設以来、特に民生委員との連携について、重点を置いてきた。民生委員との連携回数が多い事で、民生委員からの相談件数増加につながっている。		
	機関名	機関数																
民生児童委員(方面)	4機関																	
町会	6機関																	
在宅福祉委員会	3機関																	
介護保険事業所	19機関																	
職能団体・連協	2機関																	
その他	25機関																	
②ネットワーク構築回数 85 回 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>懇談会(開催、参加)</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>民児協定例会</td> <td>17回</td> </tr> <tr> <td>町会行事</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>在宅福祉ふれあい事業</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>地域密着運営推進会議</td> <td>46回</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>6回</td> </tr> </tbody> </table>	種別	回数	懇談会(開催、参加)	6回	民児協定例会	17回	町会行事	6回	在宅福祉ふれあい事業	4回	地域密着運営推進会議	46回	その他	6回				
種別	回数																	
懇談会(開催、参加)	6回																	
民児協定例会	17回																	
町会行事	6回																	
在宅福祉ふれあい事業	4回																	
地域密着運営推進会議	46回																	
その他	6回																	
第2層協議体の開催	①開催状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画数値</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	計画数値	3回	3回		開催回数	3回	3回		達成率	100.0%	100.0%		① ・計画数値3回に対して、開催回数3回と計画を達成できた。  ② ・いずれの会議にも、民生委員と町会関係者に参加してもらうことができた。 ・社会福祉協議会にも参加を促し、地域の困りごとを地域住民主体で解決できるか否かを話し合うことができた。
		H28	H29	H30														
計画数値	3回	3回																
開催回数	3回	3回																
達成率	100.0%	100.0%																
②テーマおよび主な参加機関 ・4月10日 人見町会館 <table border="1"> <tr> <td>テーマ</td> <td>地域住民にとって必要な社会資源とは？</td> </tr> <tr> <td>参加機関</td> <td>民生委員、町会役員、在宅福祉委員</td> </tr> </table> ・9月22日 白鳥町会館 <table border="1"> <tr> <td>テーマ</td> <td>地域住民が感じている地域福祉における課題とは？</td> </tr> <tr> <td>参加機関</td> <td>民生委員、町会役員、在宅福祉委員、医療・介護連携支援センター、社会福祉協議会、法テラス</td> </tr> </table> ・11月28日 本町町会 <table border="1"> <tr> <td>テーマ</td> <td>地域住民が感じている地域福祉における課題とは？</td> </tr> <tr> <td>参加機関</td> <td>民生委員、町会役員、介護保険事業所、社会福祉協議会、法テラス、行政</td> </tr> </table>	テーマ	地域住民にとって必要な社会資源とは？	参加機関	民生委員、町会役員、在宅福祉委員	テーマ	地域住民が感じている地域福祉における課題とは？	参加機関	民生委員、町会役員、在宅福祉委員、医療・介護連携支援センター、社会福祉協議会、法テラス	テーマ	地域住民が感じている地域福祉における課題とは？	参加機関	民生委員、町会役員、介護保険事業所、社会福祉協議会、法テラス、行政						
テーマ	地域住民にとって必要な社会資源とは？																	
参加機関	民生委員、町会役員、在宅福祉委員																	
テーマ	地域住民が感じている地域福祉における課題とは？																	
参加機関	民生委員、町会役員、在宅福祉委員、医療・介護連携支援センター、社会福祉協議会、法テラス																	
テーマ	地域住民が感じている地域福祉における課題とは？																	
参加機関	民生委員、町会役員、介護保険事業所、社会福祉協議会、法テラス、行政																	
地域資源の収集と見える化、支え合いと介護予防に関する普及啓発	①地域の支え合いや介護予防にかかる広報・啓発回数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防</td> <td>—</td> <td>11回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域の見守り</td> <td>—</td> <td>13回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>社会資源</td> <td>—</td> <td>0回</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	介護予防	—	11回		地域の見守り	—	13回		社会資源	—	0回		① ・介護予防や地域の見守りについて、町会をはじめ関係機関に一定程度の周知を行うことができた。  ② ・地域の支え合いや介護予防について、出前講座を通じて、町会や介護保険事業所に周知することができた。
		H28	H29	H30														
介護予防	—	11回																
地域の見守り	—	13回																
社会資源	—	0回																
②地域の支え合いや介護予防にかかる出前講座・講師派遣の依頼機関 〔 時任町会、コミュニティハウスよしずみ、中部方面五稜地区、時任町在宅福祉委員会、柳町町会、社会福祉協議会、元気deサロンin梁川 〕																		

平成30年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
<p>①地域包括ケアシステム構築について、地域住民やその他の関係者へ周知がなされ、システム構築時に円滑に連携を図ることができる。</p> <p>②民生委員を対象に地域包括ケアシステムについての周知を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2層生活支援コーディネーター業務に関連するリーフレット等を圏域内の町会や民生委員へ配布する。</li> <li>・圏域内ケアマネジャー等との連携時にコーディネーター業務について周知や意見交換等を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク構築回数</li> <li>・ネットワーク構築機関</li> </ul>
<p>①第2層協議体(会議)を年3回開催する。(地域ケア会議との整合性を図る)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員および町会に対して、リーフレットなどを活用し、協議体開催についての周知を行う。</li> <li>・新たな社会資源の構築を目指し、関係する様々な機関や職種との連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議体の開催回数、テーマ、主な参加機関</li> </ul>
<p>①広報紙の作成時に地域の支え合いや介護予防について内容を記載する。</p> <p>②民生児童委員連絡協議会にてリーフレット等を配布する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生児童委員連絡協議会にて広報紙やリーフレットを配布。</li> <li>・地域ケア会議開催時などに、参加した各関係機関や地域住民に対して広報を行う。</li> <li>・健康教室などの取り組み事例や介護予防に関する懇談会を町内会の関係者と開催し、「地域の支え合い」について普及や啓発を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の支え合いや介護予防の取組、把握した地域資源に関する普及啓発</li> <li>・広報紙への掲載回数</li> <li>・パンフレット等配布回数と対象者</li> <li>・出前講座や講師派遣の回数と対象者</li> </ul>

② 新しい介護予防・日常生活支援総合事業

イ 一般介護予防事業

(7) 地域介護予防活動支援事業（高齢者の生きがいと健康づくり推進事業）

【根拠法令】 法第115条の4第1項第2号

【目的】 年齢や心身の状況等によって高齢者を分け隔てることなく、誰でも一緒に参加することのできる介護予防活動の地域展開を目指して、市町村が介護予防に資すると判断する住民主体の通いの場等の活動を地域の実情に応じて効果的かつ効率的に支援する。

事業内容	平成29年度 活動評価					
	実績					評価
健康づくり教室 (新規・継続・自主)	① 新規教室					
		開催回数	参加者(実)	参加者(延)	1回平均	1人平均
	人見町会館	19回	18人	221人	11.6人	12.3回
	<人見町会館> 評価対象者数 10人					
	・ 教室後に維持・向上した人数と割合					
		人数	割合			
	主観的健康観	8人	80.0%			
	運動や趣味活動	8人	80.0%			
	外出頻度	8人	80.0%			
	社会活動の頻度	8人	80.0%			
	・ 地域(町会や近所)との交流状況(複数回答)					
			教室前	教室後		
	ある	挨拶程度	10人	9人		
		立ち話をする	3人	5人		
		行き来がある	0人	2人		
		町会行事に参加している	1人	6人		
		生活面で協力し合う	0人	2人		
	あまりない	知っている人がいない	1人	0人		
		知り合う機会がない	0人	0人		
	・ 参加した感想					
		人数	割合			
	とてもよかった	10人	100.0%			
	よかった	0人	0.0%			
	あまり良くなかった	0人	0.0%			
	期待はずれだった	0人	0.0%			
・ 今後の取り組みについて(複数回答)						
	人数	割合				
この教室で活動したい	10人	100.0%				
ほかの教室にも参加する	3人	30.0%				
ほかの教室にも参加したいが難しい	4人	40.0%				
自分で介護予防に取り組んでみる	1人	10.0%				
あまり考えていない	2人	20.0%				
* 次年度の方向性						
2年目教室として活動継続						
参加者から要望あり						
② 2年目教室						
	開催回数	参加者(実)	参加者(延)	1回平均	1人平均	
時任町会館	21回	14人	204人	9.7人	14.4回	
五稜郭町会館	22回	14人	142人	6.5人	10.1回	
<時任町会館> 評価対象者数 10人						
・ 教室後に維持・向上した人数と割合						
	人数	割合				
主観的健康観	8人	80.0%				
運動や趣味活動	9人	90.0%				
外出頻度	7人	70.0%				
社会活動の頻度	8人	80.0%				
・ 地域(町会や近所)との交流状況(複数回答)						
		教室前	教室後			
ある	挨拶程度	10人	10人			
	立ち話をする	6人	7人			
	行き来がある	6人	5人			
	町会行事に参加している	7人	7人			
	生活面で協力し合う	1人	4人			
あまりない	知っている人がいない	0人	0人			
	知り合う機会がない	0人	0人			
① 新規教室(人見町)						
・ 町会長・役員とは日頃より連携していたため、今回の新規教室開催にあたっては開催の提案や段取りをスムーズに進めることができた。						
・ 教室は19回の開催をすることができ、1回あたりの参加者も10数人と多く参加してくれた。						
・ アンケートの結果では、大半の参加者に健康観、活動、外出頻度、社会活動、地域交流状況の維持・向上の一助とすることができたようだった。						
・ 当初参加者間での会話が少なかったが、少しずつ増えていき、運動だけではなく人との交流を楽しめるような集い場とすることができた。						
・ 教室に対する参加者の感想も好印象であったため、希望もあり継続教室につなげることができた。						
・ サロンの運営については椅子の配置や体操の準備等参加者ができることを手伝ってくれていた。また、ゆる元体操リーダーも参加してくれていたため、担い手としての活動をする機会となった。						
・ 今後自主化を図っていくにあたっての運動の担い手として活躍することが期待される。今後の課題としては、自主化に対してのモチベーションが今の時点では高くない点である。サロンを楽しまれているが、自分達で運営すると不安がある様子。参加者ができることを増やしていき、自信を持っていただく働きかけが必要である。また、日頃協力的で参加者同士助け合っている部分もみえるが、包括が参加することで任せたり、主体性にかける部分もみえる。参加者がサロンの運営や活動に入っていけるように役割づくりを支援していく必要がある。						
② 継続教室(時任町)						
・ 時任町の教室は、65歳未満の方も参加してくれており1回10人程を維持できていた。						

平成30年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
<p>①地域の住民が身近な通い場にて介護予防を行うことができる。</p> <p>②継続教室の参加者が自分達のサロンとして主体的に取り組むことができる。</p> <p>③自主活動グループが活動を継続できる。</p>	<p>①新規教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくり教室の開催に向け、各町会での介護予防の講話、健康づくり教室についての紹介を行い、介護予防に対する意識の向上、行動変容を図る。</li> <li>新規教室開催後は「食・運動・口腔・認知症予防」に関する学習を盛り込み介護予防の情報提供をしていく。</li> <li>住民が教室参加に対するモチベーションを維持するため、楽しみながら取り組む内容を組み込んでいく。</li> </ul> <p>②継続教室(人見町)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者、運動の担い手にも教室運営に参加していただき、リーダー・サポーターの養成を図る。</li> <li>参加者の趣味活動等、それぞれの得意分野が活かせるような運動を取り入れていく。</li> <li>参加者同士が親睦を深められるように交流ができる運動を取り入れていく。</li> </ul> <p>③自主活動している教室の継続支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>五稜郭町、時任町は定期的に訪問し、活動状況の確認、参加者に実行可能な運動の紹介、社会資源の情報提供を行い、教室の継続を図る。</li> <li>梁川、柳町は年に数回顔を出し、交流を継続。活動に参加し、運営状況(内容・困っていること)を確認し、参加者に実行可能な運動の紹介、社会資源の情報提供を行う。</li> <li>乃木、柏木の活動状況の把握に努める。</li> <li>教室に出前講座を開催することで介護予防の必要性を再度啓発し、教室に対するモチベーションの維持・向上を図る。</li> <li>自主活動を行っている教室同士支えあえるように、ネットワークの構築を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催回数(新規・継続)および参加者数</li> <li>健康づくり教室参加者の行動変容</li> <li>健康づくり教室から自主化したグループの支援回数、参加者数</li> <li>アンケートの結果</li> </ul>

(7) 地域介護予防活動支援事業（高齢者の生きがいと健康づくり推進事業）

事業内容	平成29年度 活動評価																																																																																																																									
	実績	評価																																																																																																																								
健康づくり教室 (新規・継続・自主)	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加した感想 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とてもよかった</td> <td>9人</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td>よかった</td> <td>1人</td> <td>10.0%</td> </tr> <tr> <td>あまり良くなかった</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>期待はずれだった</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>今後の取り組みについて(複数回答) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>この教室で活動したい</td> <td>9人</td> <td>90.0%</td> </tr> <tr> <td>ほかの教室にも参加する</td> <td>3人</td> <td>30.0%</td> </tr> <tr> <td>ほかの教室にも参加したいが難しい</td> <td>2人</td> <td>20.0%</td> </tr> <tr> <td>自分で介護予防に取り組んでみる</td> <td>1人</td> <td>10.0%</td> </tr> <tr> <td>あまり考えていない</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>* 次年度の方向性  <ul style="list-style-type: none"> <li>自主グループとして活動継続</li> </ul> </li> <li>&lt;五稜郭町会館&gt; 評価対象者数 8人</li> <li>教室後に維持・向上した人数と割合 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主観的健康観</td> <td>6人</td> <td>75.0%</td> </tr> <tr> <td>運動や趣味活動</td> <td>7人</td> <td>87.5%</td> </tr> <tr> <td>外出頻度</td> <td>7人</td> <td>87.5%</td> </tr> <tr> <td>社会活動の頻度</td> <td>7人</td> <td>87.5%</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>地域(町会や近所)との交流状況(複数回答) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>教室前</th> <th>教室後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">ある</td> <td>挨拶程度</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>立ち話をする</td> <td>5人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>行き来がある</td> <td>3人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>町会行事に参加している</td> <td>5人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>生活面で協力し合う</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">あまりない</td> <td>知っている人がいない</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>知り合う機会がない</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>参加した感想 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とてもよかった</td> <td>7人</td> <td>87.5%</td> </tr> <tr> <td>よかった</td> <td>1人</td> <td>12.5%</td> </tr> <tr> <td>あまり良くなかった</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>期待はずれだった</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>今後の取り組みについて(複数回答) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>この教室で活動したい</td> <td>7人</td> <td>87.5%</td> </tr> <tr> <td>ほかの教室にも参加する</td> <td>5人</td> <td>62.5%</td> </tr> <tr> <td>ほかの教室にも参加したいが難しい</td> <td>1人</td> <td>12.5%</td> </tr> <tr> <td>自分で介護予防に取り組んでみる</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>あまり考えていない</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>* 次年度の方向性  <ul style="list-style-type: none"> <li>自主グループとして活動継続</li> </ul> </li> <li>③ 自主活動支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>支援回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乃木町会館</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>柏木町会館</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>梁川町会館</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>道営柳町団地</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>教育大函館校</td> <td>13回</td> </tr> </tbody> </table> <p>※センターの独自事業として開始</p> </li> </ul>		人数	割合	とてもよかった	9人	90.0%	よかった	1人	10.0%	あまり良くなかった	0人	0.0%	期待はずれだった	0人	0.0%		人数	割合	この教室で活動したい	9人	90.0%	ほかの教室にも参加する	3人	30.0%	ほかの教室にも参加したいが難しい	2人	20.0%	自分で介護予防に取り組んでみる	1人	10.0%	あまり考えていない	0人	0.0%		人数	割合	主観的健康観	6人	75.0%	運動や趣味活動	7人	87.5%	外出頻度	7人	87.5%	社会活動の頻度	7人	87.5%			教室前	教室後	ある	挨拶程度	4人	4人	立ち話をする	5人	6人	行き来がある	3人	5人	町会行事に参加している	5人	6人	生活面で協力し合う	0人	1人	あまりない	知っている人がいない	0人	0人	知り合う機会がない	0人	0人		人数	割合	とてもよかった	7人	87.5%	よかった	1人	12.5%	あまり良くなかった	0人	0.0%	期待はずれだった	0人	0.0%		人数	割合	この教室で活動したい	7人	87.5%	ほかの教室にも参加する	5人	62.5%	ほかの教室にも参加したいが難しい	1人	12.5%	自分で介護予防に取り組んでみる	0人	0.0%	あまり考えていない	0人	0.0%		支援回数	乃木町会館	0回	柏木町会館	0回	梁川町会館	5回	道営柳町団地	6回	教育大函館校	13回	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの結果では、全ての項目で大半の参加者に維持・向上の効果がみられた。参加した感想も全員が好印象であった。</li> <li>参加者の希望もあり、自主化につなげることができた。参加者には自主化に向けての話し合いや自分達で運動を考えてもらう機会も用意し、自主活動時の自信を持ってもらうことができた。また、キーパーソンとしては、盛り上げとしきるのが上手な方や健康づくり推進員や運動に対する意識の高い方等多くおり、協力的だった。町会も理解を示し、参加者の募集に協力してくれたり、会場費がかからず経済的負担も最小限で運営することができた点も大きい。</li> <li>今後の課題としては、自主化してから間もないため自分達だけで活動することにおいて問題が出る等が考えられる。参加者の悩みや運動方法の確認をするため、定期的に支援していく必要がある。</li> <li>③ 継続教室(五稜郭町) <ul style="list-style-type: none"> <li>五稜郭町は65歳未満の方も参加してくれていたが、小規模なサロンとなっていた。</li> <li>アンケートの結果については、各項目に参加者の大半が維持・向上の効果があつた。参加した感想も全員が好印象だった。</li> <li>参加者の希望もあり自主活動とつなげることができた。リーダー夫婦が内容を考えてくれたりと継続教室のうちから運営を手伝ってくれ、自主化の話し合いの際には積極的に意見を出してくれていた。他の参加者も意欲的に運動を楽しまれていた。</li> <li>今後の課題としては、少人数で年齢の高い方が多いため、メンバーが減少していく可能性がある。また、すぐに増員すると参加者だけの運営が大変になることも考えられる。運営状況確認しながら増員する機会を考えていく必要がある。サロン運営については、リーダー夫婦以外の参加者も協力的ではあるが消極的な方もおり、リーダー夫婦に負担が重複する可能性がある。</li> </ul> </li> </ul>
		人数	割合																																																																																																																							
	とてもよかった	9人	90.0%																																																																																																																							
	よかった	1人	10.0%																																																																																																																							
	あまり良くなかった	0人	0.0%																																																																																																																							
	期待はずれだった	0人	0.0%																																																																																																																							
		人数	割合																																																																																																																							
	この教室で活動したい	9人	90.0%																																																																																																																							
	ほかの教室にも参加する	3人	30.0%																																																																																																																							
	ほかの教室にも参加したいが難しい	2人	20.0%																																																																																																																							
	自分で介護予防に取り組んでみる	1人	10.0%																																																																																																																							
	あまり考えていない	0人	0.0%																																																																																																																							
		人数	割合																																																																																																																							
	主観的健康観	6人	75.0%																																																																																																																							
	運動や趣味活動	7人	87.5%																																																																																																																							
	外出頻度	7人	87.5%																																																																																																																							
	社会活動の頻度	7人	87.5%																																																																																																																							
			教室前	教室後																																																																																																																						
	ある	挨拶程度	4人	4人																																																																																																																						
		立ち話をする	5人	6人																																																																																																																						
行き来がある		3人	5人																																																																																																																							
町会行事に参加している		5人	6人																																																																																																																							
生活面で協力し合う		0人	1人																																																																																																																							
あまりない	知っている人がいない	0人	0人																																																																																																																							
	知り合う機会がない	0人	0人																																																																																																																							
	人数	割合																																																																																																																								
とてもよかった	7人	87.5%																																																																																																																								
よかった	1人	12.5%																																																																																																																								
あまり良くなかった	0人	0.0%																																																																																																																								
期待はずれだった	0人	0.0%																																																																																																																								
	人数	割合																																																																																																																								
この教室で活動したい	7人	87.5%																																																																																																																								
ほかの教室にも参加する	5人	62.5%																																																																																																																								
ほかの教室にも参加したいが難しい	1人	12.5%																																																																																																																								
自分で介護予防に取り組んでみる	0人	0.0%																																																																																																																								
あまり考えていない	0人	0.0%																																																																																																																								
	支援回数																																																																																																																									
乃木町会館	0回																																																																																																																									
柏木町会館	0回																																																																																																																									
梁川町会館	5回																																																																																																																									
道営柳町団地	6回																																																																																																																									
教育大函館校	13回																																																																																																																									

平成30年度 活動計画

事業目標	計画	評価指標

(7) 地域介護予防活動支援事業（高齢者の生きがいと健康づくり推進事業）

事業内容	平成29年度 活動評価									
	実績	評価								
健康づくり教室 (新規・継続・自主)		<p>町会や会館管理人のサロンに対する理解も得づらい環境となっているため、今後問題が発生する可能性もある。定期的に活動状況を確認し、適宜支援していく。</p> <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4町共に自主活動継続の意向で活動継続できていた。乃木、柏木については参加者から開催状況、動向等確認していたが、訪問はできていなかった。梁川と柳町については定期的に健康講話や行事等で訪問しており活動状況の確認や運動方法の紹介等サポートしていた。参加人数に変化があったり、教室の担い手の状況の変化も考えられるため、今後も自主活動継続できるよう、活動状況を確認し、必要時サポートを行っていく。</li> </ul>								
住民への 介護予防に関する 広報・啓発活動	<p>①介護予防にかかる広報・啓発回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防</td> <td>7回</td> <td>11回</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>②介護予防にかかる出前講座・講師派遣の依頼機関          [ 時任町在宅福祉委員会、元気deサロンin柳町、時任町会、コミュニティハウスよしずみ、中部方面五稜地区「健康づくり教室」、元気deサロンin梁川、五稜郭町会 ]</p>		H28	H29	H30	介護予防	7回	11回		<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会や事業所から出前講座の依頼やふれあい会食のご案内もあり、その都度健康講話を行うことで介護予防の啓発活動を行うことができた。</li> <li>・課題としては、依頼をしてくれる町会に偏りがあるため、包括からも発信していく必要がある。</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会や民生児童委員協議会に出向いた際には、介護予防の話も載っている広報紙を配布することで介護予防の活動や情報を知らせることが出来た。</li> </ul>
	H28	H29	H30							
介護予防	7回	11回								



平成30年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
<p>①地域の方が出前講座を通して介護予防の必要性を知ることができる。</p> <p>②広報紙に介護予防や健康づくりに関する情報を記載し、町会、老人クラブに随時配布できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主活動グループ、健康づくり教室、町会への訪問時には、介護予防に関するパンフレット、広報紙の配布を意識的に行う。</li> <li>・出前講座の内容としては季節に合った内容や住民の興味・関心があり、介護予防に実行可能なものを提供する。</li> <li>・自主活動グループ、健康づくり教室、町会との交流を図り、関係性の構築を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙・パンフレットの配布回数</li> <li>・出前講座参加者数</li> <li>・講師派遣回数</li> </ul>

③ 任意事業

ア 住宅改修支援事業

【根拠法令】介護保険法 115条の4 第3項第3号

【目的】高齢者向けに居宅等の改良を行おうとする者に対して、住宅改修に関する相談、助言等を行い、助言および介護保険制度の利用に関する助言を行うとともに、専門的な観点からの助言が必要と認められる場合は、他の専門職も含め対応の検討を行い、必要な助言を行う。

事業内容	平成29年度 活動評価			
	実績			評価
住宅改修支援	①支援状況			
		H28	H29	H30
	支援件数	12件	15件	
住民に対する 広報・啓発活動	①住宅改修にかかる広報・啓発回数			
		H28	H29	H30
	住宅改修	9回	7回	
	②住宅改修にかかる出前講座・講師派遣の依頼機関 ※住宅改修の項目のみでの出前講座ないが、町会行事等で広報紙を配布した際に住宅改修の説明は実施。			
	① ・医療機関や福祉事業者からの助言で制度活用に繋がる相談ケースもあり、早期対応や専門的な見地で改修に向けた支援ができています。 ・業者との連携不足や対応遅滞もなく、円滑に支援する事ができた。			
	① ・前年度と同様、広報紙による周知は継続。本人、家族、福祉関係者など住宅改修のみを対象とした相談もあり、住民や関係者に対する理解は高まっている。			

平成30年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
①福祉関係者と連携し、適切かつ円滑な住宅改修を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙やパンフレットを配布し、地域住民へ情報提供。</li> <li>・専門職も含めて助言や提案をする事で、在宅生活の継続に向けた支援を行う。</li> <li>・事業所間の連携を強化し、迅速かつ正確な対応を目指す。</li> </ul>	・支援件数
①住宅改修への理解を深め、適切な制度活用へ繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座や町会行事への参加で地域住民への周知。講座に住宅改修の項目を取り込み、啓発を行う。</li> <li>・手続き等の流れや制度活用の周知させ、環境改善が必要な人に対し、適切な助言をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住宅改修にかかる広報・啓発回数</li> <li>・出前講座・講師派遣の依頼機関</li> </ul>